

歓喜会・初盆法要・合同墓お盆法要(1)

2024.8.13-16

【ご讀題】

本願力にあひぬれば むなしくすぐるひとぞなき
功德の宝海みちみちて 煩惱の濁水(ジヨクスイ)へだてなし
(『浄土高僧和讃』『註釈版』560)

阿弥陀仏の本願(願い・み心)に出あうものは、空しい人生で終わる者は決していない。仏の恵みは宝の海のように充ち満ちて、濁った水のような煩惱の心しなくても決してさまたげとはならない。

■歓喜会(浄土真宗のお盆)・初盆法要・合同墓お盆法要

□歓喜会(かんぎえ)

…『無量寿経』の言葉「聞其名号信心歓喜乃至一念」

(聞其名号) 不思議なご縁で仏さまの名告りを聞き、(信心歓喜) 長年の人生の苦しみから解き放たれ、救われて、心にしみじみと喜びが生じ、(乃至一念) 感謝とお敬いの思いで仏さまの名を呼ぶ「ああ、阿弥陀さま…」

□私の初盆(皆さんにあてはまるお話は難しい) …親・伴侶・子ども

- ・ 諸行無常ということ
- ・ 失って初めて気づくことがある
- ・ どうしてもらうこともできない人生、
どうしてあげることも、変わってあげることもできない人生
- ・ 遺影と対話して
- ・ 大切に(向き合うこと)は難しい
…気がつくとき空しく過ぎてしまう日々
- ・ 悲しみは変わらなくても嬉しい時間
…先のことは分からないけれど、目の前のこと、できることをひとつひとつやっていくことで
- ・ 今日この場
・ み仏の御許・独りではなくて皆とともに・無理せず自身のペースで

■藪(やぶ)入り

(『広辞苑』)

奉公人が正月および盆の16日前後に、主家から休暇をもらって親もとなどに帰ること。また、その日。

(語源) 諸説あり…藪深い里へ帰ること

…あるご家庭のお盆の様子

□現代の休日

- …△お盆…カレンダー通りの会社も少ない
- …○正月…休むという社会認識が残っている

〈2023年〉

13日(日) 12組25名
14日(月) 5組16名

〈2024年〉

13日(火) 4組 10名
14日(水) 2組 6名

- ①仕事?
- ②お盆(初盆)は仏縁にあう(お寺に参る・お坊さんにお参りしていただく)意識の低下?
- ③単なる大型連休化
…塾の夏期講習・コンサート・なんとかまつり=各種イベント
海外(国内)旅行

- 15日朝席 平和を願う念仏者の集い
13日～16日 吳空襲パネル展（附・「虎に翼」猪爪寅子＝三淵嘉子）

■先祖の日（亡き人の日）として

お爺ちゃん、お婆ちゃんの名前が言えない孫が増えている（NHK意識調査）

…うちの墓知りませんか

いつもより少し長い時間の尺度で、
全力疾走している足を止め、立ち止まって

ご両親、おじいさんおばあさんから、戦争の話を聞いていますか？
次の世代に伝えてありますか？

■仏さまの心とは（親鸞聖人のお手紙から）

わがみのわるければ、いかでか如来むかへたまはむとおもふべから
ず。凡夫はもとより煩惱具足したるゆへにわるきものとおもふべし。
（『註釈版』747頁）

…自己嫌悪・劣等感…支え（暖かさ）

わがこゝろよければ、往生すべしとおもふべからず。自力の御はか
らいにては真実の報土へむまるべからざるなり。（『註釈版』747頁）

…自信過剰・傲慢…導き（厳しさ）